

令和3年度 第4回タウンミーティング

東部地区振興会とのタウンミーティング

日 時 令和3年11月26日（金）19時00分～21時00分

場 所 宮竹コミュニティセンター

参加人数 39人

【トークセッションテーマ】

1) イースタントレイルマウンテンバイククラブの活動について

（参加者）

主な活動は走行会をしたり、山道とか林道の草刈とか倒木の除去などコースの整備をやっている。ユーザー拡大に努めるために初心者の方や、小学生の自転車スクールもやっており、今年の春から岩本の皆様のご好意により、町内の山林を使わせていただいている。これからも試乗会やイベントを開催し、多くの人が楽しんだり、集まれる場所を作っていきたいと思っている。そのためには課題はたくさんあり、例えば安全性の問題、持続可能な山林、持続可能な山林を維持するためには、人がたくさん集まるとその分走行の跡や土が流れるということもある。また、やはり熊や猪などの獣害問題や、トイレなど休憩する場所がないということも課題となっている。ぜひご協力いただければと思う。

（市長）

まずトイレについて、ここを単独でということになるとどれだけの需要があるのかなという思いがあるので、健康ロード全体の整備をしていくときに、どこが一番適切なのかなということは考えていきたいと思う。

それから皆さんが整備されている土地の所有者が誰なのかという、これが大きな課題で、市としては民地でやっていることになかなかサポートというのはしづらい。市が持つて土地であれば、全面的にということになるが、個人が持つてらっしゃるところを整備しているとなると、手を出しづらいというか所有者の思いがあるので難しい。唯一申し上げられるとすれば、何か団体を作って、例えば体育協会だとかいろんなとこに所属すると、市もそのサポートをしやすいということもあるので、ご検討いただければと思う。

2) 除雪について

（参加者）

サイドの除雪というか、降った翌日や、もう降雪がない日とかでも少し動いていただいで、道幅を広げてもらうとか、そういったことはしてもらえてないと感じている。

当日以外の、例えば去年、すごい雪降ったが、その後の日にちはそんなに降ってないと思う。あのときも1月にすごい雪があった以外は大したことがなかった。それでも降ったときが多くて、2日後、3日後、4日後、継続的に道を広げてくれるような除雪活動をしてほしい。朝早い時間から動いていただいているのは本当にありがたいが、その後のかわり除雪を何とかお願いできないかなと思っている。

(市長)

雪が降ると本当にたくさんの皆様方からお声をいただく。除雪車はフルに動いていて、オペレーターの人も朝早くから、中には徹夜をしてる方がいると、どうしても休ませなくてはならない。なかなか皆様方のご要望にお応えできるように除雪ができていないというのが率直なところで、今能美市ではオペレーターの数を増やそうということで、オペレーターの資格を取るための費用の一部を助成をしたり、除雪に協力してもらえ業者を増やそうと、業者を増やすためにはそれなりに除雪をすることに見合った報酬にしないとということで、サポートしながら出来るだけ多くの皆様方に納得してもらえよう、安全安心な道になるように努力をしている。なかなか除雪が来ないようなところがあれば、ぜひ土木課の方に窓口を設けているので、そちらの方にご要望いただければと思う。

(参加者)

金沢市の山間部や、白山市なんかは自助というところを強調していて、例えば、小さい除雪機を購入するにあたって補助金であったり、町会に対して除雪機を設置したりとかもあるというふうに聞いている。ぜひそういう方法もあるのなら、大型機械入れなくても小さい機械で対処できるという場合もあると思うので、検討していただければと思う。

(市長)

そういったメニューもあるので、また別途ご紹介する。

町会町内会で除雪をされた場合には、その費用の一部を市の方から支援させていただいてるし、市の方で除雪機を持っているので、それを使って除雪をしていただけるようにもしている。

3) 健康ロードについて

(参加者)

健康ロードの灯台笹から岩本まで、灯台笹の公民館で街灯が切れている。本当に夜すごく真っ暗で、子供たちが通学路に使っているのが、ちょっと危ない。もうずっと10年ぐらい前から要望を出しているが、なかなか進まないの、そのへんどうなのでしょう

か。

(市長)

そういった街灯の場合は、地元にも何%か負担をしてもらうというルールになっている。もしかして、灯台笹町の方から市の方に上がってきていないのかもしれない。ただ、健康ロードとして、今整備をしていくので、もし今おっしゃった道がこの健康ロードのところであれば、また地元の灯台笹町の皆様方とも相談をしながら進めて行きたいと思う。

(参加者)

通学路ということで自転車も走れると思うが、白山市にサイクリングロードというすごい人気の自転車コースがあるので、そこと健康ロードをうまく繋げるともっと人を呼び込めるんじゃないかなと思う。

(市長)

石川県が整備をしている道路なので、今能美市がやろうとしている健康ロードとは少し趣旨が違う。どちらかという健康ロードは歩いたり、ジョギングしたりする人を優先にしていこうということを考えている。スピードが出るそういった自転車は出来れば別のところを通ってほしいと思っている。

(参加者)

電車道と関連付けて、岩本にある北電のトンネルを何とかいろんな使い方が出来ないかということで、岩本町会で今取り組んでいる。なかなか岩本の人だけの力では力不足で、結構山が荒れてきて倒木が入り口をふさいだりしている。今、ななさとプロジェクトの方にも見ていただいて、応援をいろいろお願いしているが、健康ロードと廃トンネルを組み合わせると何か出来ないかなと考えている。

(市長)

大変興味があるネタなので1回見に行く。珠洲がワインセラーみたいにしてやっている。あそこは廃線間もないのを使ったので、あまり手を入れずにやれたのかもしれない。廃線45年だとすると、中の状態がどうなっているのかということもある。ただ、何とか何か使えないかなという興味あるので1回見に行く。仏大寺に行く無患子トンネル、高校生の陸上部が使っている。雨の日や雪の日、練習コースとして使っている。そういう使い方もあるので、雨の日で健康ロードが使えないときに健康促進のために使うとかっていうことであれば面白いと思う。ぜひ何に使えばいいかっていうアイデアがあれば、能美電跡のプロジェクトが立ち上がっているのもので、土木課までお問い合わせいた

だければと思う。

4) 定住、空き家、商業施設について

(参加者)

旭台では、人が定住しない、家族で住む方が少ないということをおっしゃっていたが、どうしたら家族ぐるみで定住できるかというのを自分なりにもう少し考えてみたいと思うが、市長としてのご意見をお願いしたい。

(市長)

私は空き家だと思っている。空き家の活用を何か出来ないかという思いをしていて、その一方で空き家の登録件数は低い。

能美市内に2年前に町内会長さんのご協力をいただき、何件空き家があるか調べたが、空き家バンクに登録されている件数はその1割にも満たない。空き家は多いが、それを活用したいと思っているオーナーが意外と少ない。そういったオーナーが少ない要因としては、活用をあまり望ましくないと思う人もいれば、市外、県外に住んでいて、なかなかそういった情報が伝わりにくいという背景もあるので、今能美市では、市に寄贈していただければ、そのあと全部やりますよというような新しい制度を作った。そうやって空き家を促進させていきたいという思いをしていて、特に外国人の皆様方が家族で住むには空き家は結構良いプレゼンテーションだと思っている。

(参加者)

空き家対策で灯台笹町でも登録は今のところ5件ぐらいしている。去年も1人移住してきた方もいらっしゃる。そういうふうな活用も出来ると思うが、この周辺は商業施設が少ない。宮竹や東部地区では商業施設がないので、辰口まで出るとか、近場では鶴来に行くとか、そういうところまで移動しないと行けないので、せっかくJAISTもあるのでそういうところに商業施設があったらいいと思う。

(市長)

おっしゃるとおりで市もいろんなところにお声掛けしているが、やはり会社さんはそこに作ってもなかなか難しいという判断で進出には至っていないということだと思う。特に最近ドラッグストア、すごい勢いで出来て、コンビニの裏に出来たり、別のドラッグストアの近くに出たりしているので、私はあの辺りというのはそれなりの商業圏だと思っているので、またそういった会社さんにアプローチは続けていきたいと思っている。

5) 公衆トイレについて

(参加者)

宮竹に多目的広場があるが、そちらの方にトイレをお願いしたい。今現在、だいたい天気の良い日には約 20 名ぐらいの高齢者の方がグラウンドゴルフとか、歩いたりとか健康促進のために一生懸命頑張っているが、高齢者のためトイレに非常に困っている。上と下にもトイレがあるが、そこを高齢者の人が歩いていくというのは大変なので、何とかしてもらえないかと思う。墓地公園もあって、宮竹地区の防災の避難場所にもなっているというようなことも聞いているので、ぜひトイレ設置をお願いしたい。

(市長)

トイレも皆さんから要望いただくが、建てるだけではなくて維持費やメンテナンスにも結構お金がかかるので、町会にもある程度ご負担いただくことになる。昔の駅があったところに 1 個あるので、少し全体を見ながらまた相談させていただきたいと思う。

(参加者)

トイレの維持費は結構かかるのか。

(市長)

水道がないところには水道を通さないといけない、下水道も通さないといけない、電気も通さないといけないとなると、結構やっぱりコストがかかる。

6) 里山の振興について

(参加者)

宮竹町の東交差点から JAIST の中間地点に「桜とツツジの里」という環境の会で整備している場所があるが、そこを「ななさと憩いの広場」ということで認定、名前を付けていただけないか。看板を立てる予定をしていて、少しでも里山の振興のためにたくさんの人たちがそこに集えるような場所に今したいと思っている。ななさとビジョンが出来たので、憩いの場所として活用して、そういう名前で広げていきたいと思っている。まちづくり整備委員会があって、そこを通じて東部振興会からもお願いしている。

(市長)

市の管理している土地の名称をどういった手順で、どういったステップを踏まえて変えていくのかということの制度自体がわかっていない。まず、ななさとビジョンの皆さん方からそういった名前にしてほしいという声が上がっているということで理解したので、どんな名前にしていいかということ、こちらでもう 1 回検討してご回答申し上げる。

7) 丘陵地の道の整備について

(参加者)

「能美の里山 2030」ということで健康ロードの整備を進めていくということですが、健康ロードというとどちらかというと平らなところなので、里山ということでもう少し丘陵地の方の整備も出来ないか。

(市長)

具体的な候補地があればやる。例えば能美市内には北陸鉄道能美線以外にもたくさん健康ロードがあって、その道と能美線跡地を行き交うことができるように、案内看板を出したりするようなことは考えている。今の七郷地域の中でそんな場所があったかなというのはあるが、どこかあるのか。

(参加者)

山間地の方でいうと、例えば長滝から金剛寺の方に抜ける林道であったり、和佐谷から鍋谷に抜ける林道であったりとかあると思う。現時点でそういった道路があるというところで、今あるそれを有効に活かして情報発信することで、例えば市外の方にこういったランニングコースがある。その辺の情報を市外に発信していくことで、もっと市外から訪れる人が増えたりするので、里山 2030 というものをまた広げていっていただくことが出来ないかなというふうに思った。

(市長)

健康ロードということになると、安全に安心して通っていただくということが私は第一優先だと思っている。そうすると和佐谷から鍋谷に抜けるあの道、結構自転車が走っている。冬場になると崖崩れがあったり、また雪が溶けてそれによって崩れたりして、その整備だけでも結構かかる。健康ロードというよりも活道路として使ってらっしゃる方もいるので、あの道はそちらが優先かなと思う。それから長滝から金剛寺に抜ける道、私通ったことないかもしれないので一回勉強しに、一回通ってくる。やはり安全安心というところが大事なので、そういったところに街灯つけるとなると大変なので、とりあえず1回見てくる。

8) 長滝町の道の整備について

(参加者)

今長滝では滝を見に来てくれる人がたくさんおいでになる。そしたら車の通りが激しくなっていて、長滝の子供たちが結構自転車で走っていて、危ないというところを結構見ている。その辺を市で少し考えていただきたい。何とか道を長滝の部落の中を通るのではなく、神社の下にそんな広い道ではないが、今現在であれば少し広く取れそう

なので、もう一度見てもらってそっちの方でもし取れそうなら、何とかしてほしいなと思う。

長滝の方で前に一度要望を出したら、だいたい集落の方で半分ぐらい見てくれと言われた。今現在長滝の集落自体も小さく、人自体も少ないので、その半分以上を負担出来るかというと、少し難しい問題がある。出来ればもう一度考え直していただいて、どうしてもそれが出来ないということになれば、またもう一度お話をさせていただきたいので、再検討をお願いしたい。

(市長)

結局は費用対効果という話になると思うので、その道路を通すのにどれぐらいの費用がかかるのか。どうしても長滝の町民の皆様方にも一定のご負担をお願いすることになるので、長滝の皆さんにとってそういったこともご理解していただけるのかということも一度お聞きしながら、調べてみたいと思う。

以上